

資料編

①阿倍野区に被害をもたらす災害

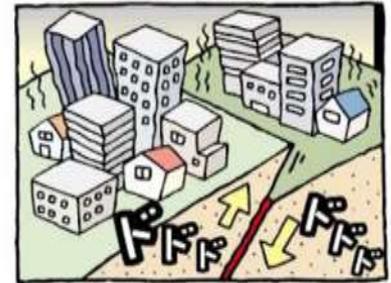
■ 地震編

阿倍野区に被害をもたらす地震には、「内陸活断層の地震」と「海溝型地震」があります。

◆内陸活断層の地震

内陸活断層の地震とは、陸地の（ユーラシアプレートの内部）で活断層がずれて起こる地震です。兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）がその代表例です。

- （特徴）
- ・揺れている時間が短い（10秒から数十秒）
 - ・震源が浅いため、断層の近くでは揺れが激しい
 - ・千年から1万年程度の間隔で発生する



今後、発生が想定される地震

- ・上町断層帯地震
- ・生駒断層帯地震
- ・有馬高槻断層帯地震
- ・中央構造線断層帯地震

※内陸活断層の地震の中で特に阿倍野区に甚大な被害が懸念される上町断層帯地震は、都市直下型地震で、マグニチュード7クラスに達し、最大震度6強と想定されています。今後30年以内の発生確率は、2～3%と予想されています。（参考：阪神淡路大震災の発生確率は5～8%と言われていました。）



◆海溝型地震

海溝型地震とは、海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込み続けているために、ひずみが限界に達したとき大陸プレートが跳ね上がって起こる地震です。東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）、東南海・南海地震がその代表例です。

- （特徴）
- ・揺れている時間が長い（1分以上）
 - ・津波が襲ってくる可能性が高い
 - ・数十年から100年程度の間隔で発生する

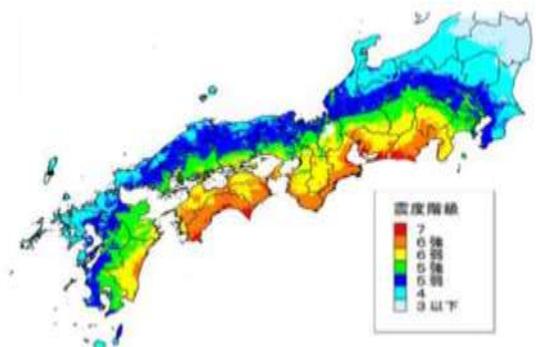


南海トラフ巨大地震による最大震度分布

今後、発生が想定される地震

- ・東南海・南海地震
- ・南海トラフ巨大地震

※南海トラフの地震が今後30年以内に発生する確率は、70%程度と予想されています。

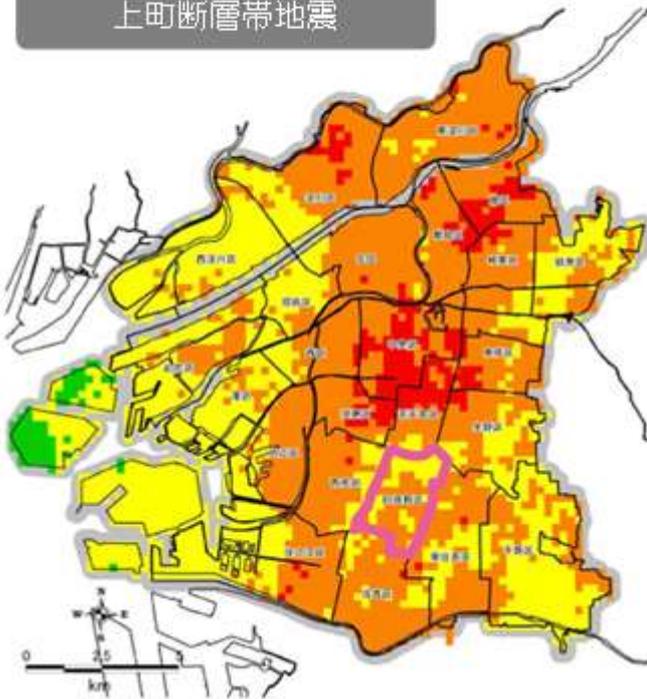


(1) 内陸活断層の地震による被害想定

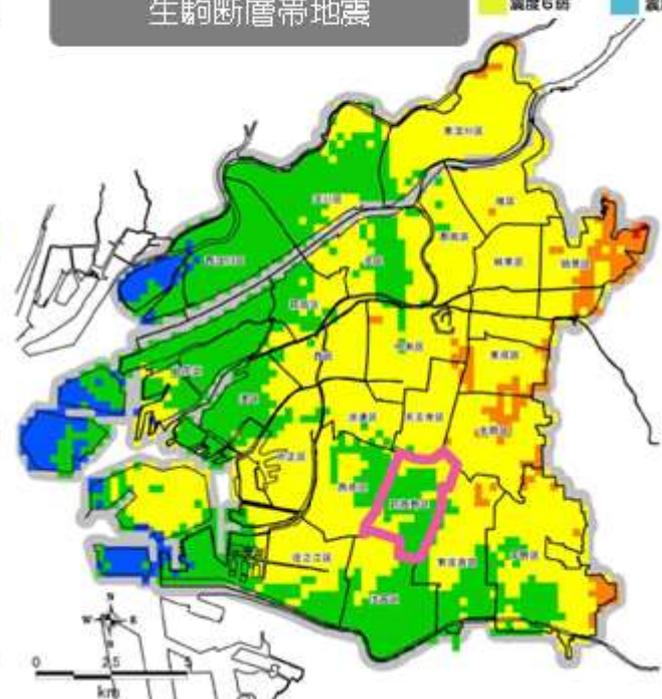
活断層の名称	地震規模	阿倍野区において想定される被害等			
		震度	死者数	建物の全半壊	避難想定者数
上町断層帯	7.5~7.8	6強~6弱	157人	12,389棟	12,185人
生駒断層帯	7.3~7.7	5強~6弱	12人	3,509棟	3,189人
有馬高槻断層帯	7.3~7.7	5弱~5強	0人	25棟	30人
中央構造線断層帯	7.7~8.1	5弱~5強	0人	48棟	52人



上町断層帯地震



生駒断層帯地震



有馬高槻断層帯地震



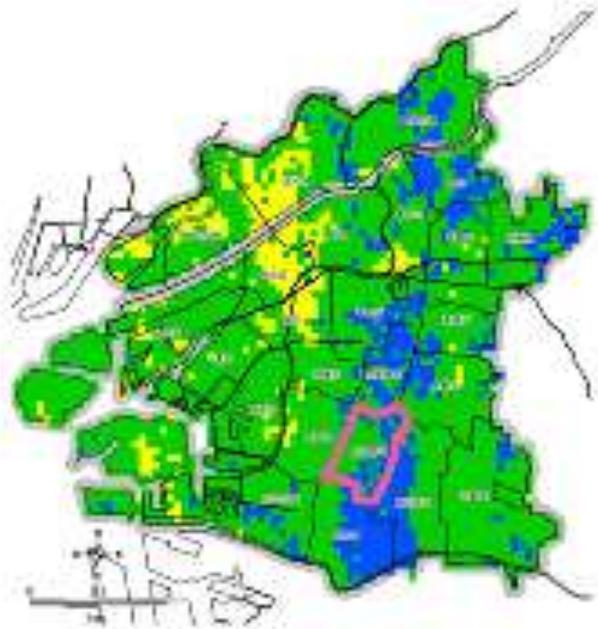
中央構造線断層帯地震



(2) 海溝型地震による被害想定

活断層の名称	地震規模	阿倍野区において想定される被害等				
		最大震度	津波浸水面積	死者数	建物の全半壊	避難想定者数
東南海・南海地震	7.9~8.6	6弱	0	0人	399棟	379人
南海トラフ巨大地震	7.3~7.7	6弱	0	8人	4,581棟	16,992人

東南海・南海地震



南海トラフ巨大地震



海溝である南海トラフで起こる地震では、津波が発生するおそれがありますが、阿倍野区では、津波による直接の被害はないとされています。